

1
5

再版卷之五目表

第二百一十三條	第二百一十四條	第二百一十五條	第二百一十六條	第二百一十七條	第二百一十八條	第二百一十九條	第二百二十條	第二百二十一條	第二百二十二條	第二百二十三條	第二百二十四條	第二百二十五條	第二百二十六條	第二百二十七條	第二百二十八條	第二百二十九條	第二百三十條	第二百三十一條	第二百三十二條	第二百三十三條	第二百三十四條	第二百三十五條	第二百三十六條	第二百三十七條	第二百三十八條	第二百三十九條	第二百四十條	第二百四十一條	第二百四十二條	第二百四十三條	第二百四十四條	第二百四十五條	第二百四十六條	第二百四十七條	第二百四十八條	第二百四十九條	第二百五十條	第二百五十一條	第二百五十二條	第二百五十三條	第二百五十四條	第二百五十五條	第二百五十六條	第二百五十七條	第二百五十八條	第二百五十九條	第二百六十條	第二百六十一條	第二百六十二條	第二百六十三條	第二百六十四條	第二百六十五條	第二百六十六條	第二百六十七條	第二百六十八條	第二百六十九條	第二百七十條	第二百七十一條	第二百七十二條	第二百七十三條	第二百七十四條	第二百七十五條	第二百七十六條	第二百七十七條	第二百七十八條	第二百七十九條	第二百八十條	第二百八十一條	第二百八十二條	第二百八十三條	第二百八十四條	第二百八十五條	第二百八十六條	第二百八十七條	第二百八十八條	第二百八十九條	第二百九十條	第二百九十一條	第二百九十二條	第二百九十三條	第二百九十四條	第二百九十五條	第二百九十六條	第二百九十七條	第二百九十八條	第二百九十九條	第三百條
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	------

太政官權大書記官
兼外務權大書記官
正六位村田保註釋

刑法註釋

再版

卷五

東京圖書館

函九三	門新
架二	部十一
號	類

行使シタル者ハ乃チ公衆ノ信用ヲ害スル罪トス

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

官ヨリ發行スル諸免狀諸鑑札ハ大抵税金ヲ納ムルカ或ハ免許料鑑札料若クハ手数料ヲ納メテ之ヲ受ク可キ者ナリ其之ヲ納ムルコ

ヲ厭ヒ免狀鑑札ヲ偽造シテ自カラ之ヲ行使シ又ハ他人ニ與ヘテ行使セシメタル者ハ官ヲ欺罔シテ許可ナキ事ヲ行フ其情重シト雖モ官印ヲ偽造盜用スルコトナクシテ免狀鑑札ヲ偽造シタルノミナレハ又自カラ恕ス可キ所アリ因テ一月以上一年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス若シ官印ヲ偽造シ又ハ盜用シテ免狀鑑札ヲ偽造シタル時之ヲ偽造官印ノ各本條ニ照ラセハ此刑ヨリ總テ重ケレハ本條ノ罪ハ問ハスシテ止夕偽

造官印ノ刑ニ處ス可シ

第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐
偽ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ヲ附加ス
官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一
等ヲ加フ

本條ハ免狀鑑札ヲ偽造スル罪ニ非スシテ之
ヲ受クル爲メ其屬籍華士族身分氏名ヲ詐稱
シ其他種々ナル詐偽ノ所爲ヲ以テ其免狀鑑

札ヲ受得タル者ノ罪ナリ乃チ官署ヲ欺キタ
ルヲ重シト雖モ偽造ノ罪ニ比スレハ其情大
ニ異ナリ仍テ前條ノ半限ナル十五日以上六
月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金
ニ處ス其免狀鑑札ハ官ニ沒收ス可シ若シ詐
稱シタルノミニシテ未タ免狀鑑札ヲ受ケザ
ル前ニ其詐稱ノ罪發覺シタル時ハ第二百三
十一條ニ照ラシ止タ二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス可シ

若シ免狀鑑札ヲ主管スル官吏其詐稱タルノ

情ヲ知テ之ヲ下付シタル者ハ其情更ニ重シ
前項ノ刑ニ一等ヲ加ヘ十八日以上七月十五
日以下ノ重禁錮二圓五十錢以上二十五圓以
下ノ罰金ニ處ス可シ

第二百十五條 公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ
氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル
者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分ク
ス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上
三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

醫師囑託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル者

ハ一等ヲ加フ

本條前項ハ醫師ノ診斷書ヲ偽造スル罪ヲ云
ヒ後項ハ醫師詐偽ノ診斷書ヲ造リタル罪ヲ
云フ公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用
ヒ疾病ノ證書ヲ偽造スルトハ例ハ證人又
ハ鑑定人トシテ裁判所ニ呼出サル、者其義
務ヲ免カレンカ爲メ自カラ疾病ト詐稱シ醫
師ノ氏名ヲ用ヒ其診斷書ヲ偽造シテ之ヲ官
ニ出シ官吏ヲ欺カントス其情第百七十八條
ニ記載シタル詐偽ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リ

タル者ト等シ故ニ自己ノ爲メニ偽造シ又ハ
他人ノ囑託ヲ受ケテ偽造シタルヲ分タス一
月以上一年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以
下ノ罰金ニ處ス若シ詐偽ノ所爲ヲ用ヒスシ
テ公務ヲ免カレントスル者ハ第百七十九條
第百八十條ニ依リ止タ罰金ヲ科スルノミ
醫師タル者公務ヲ免カレントスル人ヨリ賄
賂等ノ爲メ囑託ヲ受ケ疾病ナラサルニ疾病
證書ヲ造リ交付シタル時ハ其情稍ヤ重シ一
等ヲ加ヘ一月七日以上一年三月以下ノ重禁

錮三圓七十五錢以上三十七圓五十錢以下ノ
罰金ニ處ス併シナカラ醫師其詐偽ノ證書ヲ
交付シタリト雖モ本人未タ之ヲ行使セサル
トキハ其罪ヲ論ス可キモノナシトス
第二百十六條 陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ爲
メ疾病ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑
託ヲ受ケテ其詐偽ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前
條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

陸海軍ノ徵兵ヲ免カル可キ爲メ身體ヲ毀傷
シテ疾病ヲ作爲シ免役ヲ圖リタル者ハ第百

七十八條ニ其刑アリト雖モ若シ徵兵ヲ免カ
ル可キ爲ノ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病證書ヲ偽
造シテ行使シタル時ハ其所行尋常免役ヲ圖
リタルヨリ惡ム可シ因テ自己ノ爲メニシ他
人ノ爲メニスルヲ分タス前條ノ刑ニ一等ヲ
加ヘ一月七日以上一年三月以下ノ重禁錮三
圓七十五錢以上三十七圓五十錢以下ノ罰金
ニ處ス醫師其職業上ニ付キ人ヨリ囑託ヲ受
ケ徵兵ヲ免カレシムル爲メ疾病ナラサルニ
疾病證書ヲ造リ交付シタル時ハ又一等ヲ加

ヘ一月十六日以上一年六月二十二日以下ノ
重禁錮四圓六十八錢七釐五毛以上四十六圓
八十七錢五釐以下ノ罰金ニ處ス可シ前條ト
本條トハ同ク公務ヲ免カル可キ爲メ疾病證
書ヲ偽造シタル罪ナレトモ本條前條ニ一等
ヲ加フル所以ハ徵兵ヲ免カルトキハ全國
ノ兵員ヲ減少シ其關係大ナレハナリ
第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ增
減變換シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ
本條ハ第二百十三條以下ノ免狀鑑札及ヒ疾

病證書ノ真正ナル物ヲ得テ之ニ記載シタル
事柄ヲ増減變換シテ行使シタル者ヲ云フ例
ハ職獵免狀ヲ得テ之ヲ遊獵免狀ニ改メ或
ハ酒類請賣鑑札ヲ酒造鑑札ト改メ又ハ診斷
書ニ輕症トアルヲ重症ト改メ其他條件氏名
年月日等ヲ増減變換シテ行使シタル者ハ其
情之ヲ偽造シタル者ト異同ナシ故ニ偽造ト
同刑ニ處ス官ノ文書ニ於テモ偽造増減變換
等ハ同一ノ刑ナレハナリ

○第六節 偽證ノ罪

偽證トハ裁判所ニ於テ證人トシテ呼出サレ
タル者裁判官ニ對シ宣誓ヲ爲シタルノ後事
實相違ナル證據ヲ陳述シタル罪ヲ云フ

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判
所ニ呼出サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ事
實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時ハ左ノ例ニ照
シテ處斷ス

證人ハ裁判上最モ緊要ナルトハ裁判官ノ判
斷ヲ爲ス多クハ其陳述スル所ニ據ル故ニ證
人タル者ハ豫メ其言ノ確實ナルトヲ約セシ

×務メテ公廉正直ナルヲ要ス是ヲ以テ證
 人タルヲハ公權ヲ剥奪セラレ又ハ公權ヲ停
 止セラレタル者若クハ親屬幼者後見人雇人
 等ニハ治罪法ニ於テ一切禁シタルモノトス
 若シ刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出
 サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ故サラニ
 不實ノ事ヲ陳述シ偽證ヲ爲シタル時ハ重罪
 輕罪違警罪ヲ區別シ左ニ記載シタル一項二
 項三項ノ例ニ照ラシテ處斷ス可シ若シ裁判
 官ニシテ被告人ヲ曲庇シタルハ第二百八十

六條ニ見ヘタリ

一重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以
 上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以
 下ノ罰金ヲ附加ス

重罪ニ該ル被告人ニハ或ハ謀殺放火等死刑
 ニ處ス可キ者モアレハ之ヲ曲庇シテ其罪ヲ
 免カレシモンカ爲メ偽證シタル者ハ其罪重
 シ二月以上二年以下ノ重禁錮四圓以上四十
 圓以下ノ罰金ニ處ス

二輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以

上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

輕罪ニ該ル被告人ニハ五年又ハ加等シテ七年ニ至ル禁錮ノ刑ヨリ重キ刑ナシ之ヲ曲庇

シテ其罪ヲ免カレシメンカ爲メ偽證シタル者ハ其情稍ヤ輕シ一月以上一年以下ノ重禁

錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
三違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處斷ス

違警罪ニ該ル被告人ニハ十日又ハ加等シテ

十二日ニ至ル拘留ノ刑ヨリ重キ刑ナシ之ヲ曲庇シテ其罪ヲ免カレシメンカ爲メ偽證シタル者ハ其情最モ輕シ違警罪ノ本條第四百二十五條第十四項ニ依リ處斷ス可シ則チ三日以上十日以下ノ拘留又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ヲ云フ

第二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カレタル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

前條ニ記載シタル偽證ノ爲メ被告人其受ク

可キ正當ノ刑ヲ免カレタル時ハ〔重刑ニ處ス
 可キヲ輕刑ト爲シ或ハ全ク其罪ヲ免カレシ
 ムルノ類〕其偽證ヲ爲シタル者已ニ其目的ヲ
 遂ケタルヲ以テ前條ノ刑ヨリ各一等ヲ加ヘ
 重罪ヲ曲庇シタルハ二月十五日以上二年六
 月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金
 ニ處シ輕罪ヲ曲庇シタルハ一月七日以上一
 年三月以下ノ重禁錮二圓五十錢以上二十五
 圓以下ノ罰金ニ處シ違警罪ヲ曲庇シタルハ
 第四百二十五條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ三日以

上十二日以下ノ拘留又ハ一圓二十五錢以上
 二圓四十錢以下ノ料料ニ處ス可シ
 第二百二十條 被告人ヲ陷害スル爲メ偽證ヲ
 爲シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス
 一重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年
 以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓
 以下ノ罰金ヲ附加ス
 二輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月
 以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓
 以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ニ陥ラシムル為メ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前二條ハ被告人ヲ曲庇シタル罪ヲ云ヒ本條以下ハ被告人ヲ陷害シタル罪ヲ云フ則チ刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼出サレタル者被告人ヲ陷害スル為メ故サラニ不實ノ事ヲ陳述シ偽證ヲ為シタル時ハ其情曲庇スルヨリ負カニ惡ク其害モ亦甚タシ但裁判官ニシテ被告人ヲ陷害シタル者ハ第二百八十

六條ニ見ヘタリ

被告人ヲ陷害シテ重罪ノ刑ニ入ル可キ為メ偽證シタル者ハ其情甚タ重シ二年以上五年以下ノ重禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

被告人ヲ陷害シテ輕罪ノ刑ニ入ル可キ為メ偽證シタル者ハ其情稍ヤ輕シ六月以上二年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

違警罪ニ陷害スル為メ偽證シタル者ハ曲庇

ハ違警罪ニ處ス可シト雖モ人ヲ陷ルニ至テ
 ハ違警罪ノ比ニアラス仍テ一月以上三月以
 下ノ重禁錮二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二百二十一條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セ
 ラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽
 證者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載
 シタル偽證ノ刑ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シ
 テ處斷ス
 其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現
 ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減ス

ルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得
 得ス

本條前項ハ陷害ノ刑ヲ執行シタル後發覺シ
 タルヲ云々後項ハ其刑期限内ニ於テ發覺
 シタルヲ云フ則チ前條ニ記載シタル偽證
 ノ爲メ被告人其陷害シタル刑ニ處斷セラレ
 タル後其冤枉ナルノ發覺シタル時ハ偽證
 者ヲ其刑ニ反坐ス例ハ二年以上五年以下
 ノ重禁錮ニ處ス可キ者ヲ陷害シテ輕懲役ニ
 處シタル時ハ其輕懲役ニ反坐スルヲ云フ

若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑ヨ
 リ輕キ時ハ前條ノ例ニ照ラシテ處斷ス例ハ
 ハ違警罪ニ處ス可キ者ヲ陷害シテ四月ノ重
 禁錮ニ處シタル時ハ之ニ反坐スレハ前條ノ
 輕罪ニ陷ラシムル為メ偽證シタル者ヨリ其
 刑輕クナル可シ此時ハ前條ノ六月以上二年
 以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ
 處ス可キヲ云フ
 然レトモ陷害ニ因テ刑ニ處セラレタル者其
 刑期限内ニ於テ其冤枉ナルノ發覺シタル

時ハ裁判官ノ意見ヲ以テ反坐ノ刑ヲ現ニ經
 過シタル日數マテニ輕減スルヲ得可シ例
 ハ輕罪ノ刑ニ該ル者ヲ陷害シテ十二年ノ
 有期徒刑ニ處シ七年ヲ經テ其冤枉ナルノ
 發覺シタル時ハ有期徒刑ニ反坐スルハ當然
 ナリト雖モ裁判官ハ偽證者ヲ七年ノ輕懲役
 マテニ反坐スルヲ得可シ但減シテ前條偽
 證ノ刑ヨリ降スヲ得ストハ例ハ陷害シ
 テ六年ノ輕懲役ニ處セラレタル者一年半ヲ
 經過シテ其冤枉ナルノ發覺シタル時ハ之

ヲ現ニ經過シタル日數マテニ減スル時ハ前
條第一項ノ刑ヨリ輕シナル可シ此場合ニハ
現ニ經過シタル日數マテニ減スルヲ得ス
即チ二年ノ重禁錮十圓ノ罰金ヨリ降スヲ
得サルヲ云フ

第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處
セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未夕刑
ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ
減ス

若シ被告人ヲ死ニ陷ル、ノ目的ヲ以テ偽證ヲ

爲シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未夕刑ヲ執行セ
サル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

偽證者被告人ヲ死刑ニ陷ル、ノ意ニ非サレ
トモ其偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタ
ル時ハ偽證者ノ意外ニ出タル者ナレハ之ヲ
死刑ニ反坐スルハ酷ナリ因テ一等ヲ減シ無
期徒刑ニ處ス其未夕死刑ヲ執行セサル前ニ
於テ其枉斷ナルノ發覺シタル時ハ被告人
現ニ死刑ヲ受クルヲナケレハ又一等ヲ減シ
有期徒刑ニ處ス可シ

若シ偽證者豫メ被告人ヲ死刑ニ陷ル、ノ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シ因テ被告人死刑ニ處セラレタルコトノ明カナル時ハ偽證者ヲ死刑ニ反坐ス然レトモ死刑ヲ執行セサル前ニ於テ其枉斷ナルコトノ發覺シタル時ハ未タ其目的ヲ遂ケサル者ナレハ一等ヲ減シ無期徒刑ニ處ス可シ

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附

加ス

第二百十八條ヨリ前條マテハ刑事ニ關スル偽證ヲ云ヒ本條ハ民事商事又ハ行政裁判ニ關スル訴訟ノ爲メ其裁判所ニ呼出サレ偽證ヲ爲シタル者ヲ云フ本條ノ偽證ハ其害原告被告ノ一方ニ損失ヲ被ラシムルニ止ツテ刑事ノ如キ人ノ身體ニ害ヲ加フルコトナケレハ其情大ニ輕シ一月以上一年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所

ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述ヲ爲シタル時ハ
前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス
前條マテハ證人トシテ裁判所ニ呼出サレタ
ル者偽證ヲ爲シタル罪ヲ云ヒ本條ハ鑑定又
ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出サレテ事物ノ良
否ヲ鑑定スルコトヲ命セラレ又ハ外國人若ク
ハ瘖啞者ノ通事ヲ爲スコトヲ命セラレタル者
故サラニ其實事ヲ陳述セサルハ偽證ノ罪ニ
アラサレトモ裁判所ニ對シ詐偽ノ陳述シタ
レハ偽證ノ例ニ照ラシテ處斷ス可シ乃チ其

目的被告人ヲ曲庇スル爲メナレハ第二百十
八條第二百十九條ニ記載シタル刑ニ處シ陷
害スル爲メナレハ第二百二十條第二百二十
一條第二百二十二條ニ記載シタル刑ニ處シ
民事商事等ニ關シタルモノナレハ第二百二
十三條ニ記載シタル刑ニ處ス可キコトヲ云フ
第二百二十五條 賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ
囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメ
タル者ハ亦偽證ノ例ニ同シ
本條ノ意ハ賄賂其他ノ方法詐欺脅迫結約威

權ヲ以テ他人ニ囑託シテ偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ自ラ現ニ之ヲ爲サスト雖モ人ヲ教唆シテ犯サシムレハ乃チ自カラ之ヲ犯シタルト同シ故ニ前數條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照ラシテ處斷ス可キヲ云フ

第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス
偽證又ハ詐偽ノ鑑定通事ヲ爲シタルト雖モ

其事件未タ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ過ヲ悔ヒ官ニ自首シタル時ハ其裁判直チニ回復シ正當ニ歸スレハ爲メニ其害ヲ受クルトナシ是故ニ一般ノ自首ハ止タ本刑ニ一等ヲ減スレトモ本條ノ自首ハ全ク其罪ヲ免スルナリ

○第七節 度量衡ヲ偽造スル罪

度量衡ノ三器ハ官其定規ニ違ハサルヲ證スル爲メ檢印シテ之ヲ發行シ人民ヲシテ信ヲ措キ使用セシムルモノナリ故ニ之ヲ偽造

スルハ乃チ公衆ノ信用ヲ害スル罪トス

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

度量衡ノ三器ハ官許ノ製作所賣捌所ノ外之ヲ製作賣捌スルヲ得ス又官ノ檢印アル者ニ非サレハ之ヲ使用スルヲ得サルナリ若シ擅ニ之ヲ製造シ又ハ真正ノ度量衡ヲ得テ

尺度秤量ノ目ヲ盛直シ枓ノ縁鐵弦鐵ヲ打替ヘ斗マス攪カキヲ修復シ或ハ秤量ノ緒紐ヒモヲ附替ヘ其定規マスヲ増減シテ販賣シタル者ハ一般ヲ欺瞞シテ公衆ヲ害ス仍テ二年以上五年以下ノ重禁錮十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス併シナカラ止タ偽造變造シタルノミニシテ其定規ヲ増減シ及ヒ販賣スルヲナケレハ本條ノ問フ所ニアラス之ヲ沒收スルノミナリ但度量衡ヲ偽造スル爲メ官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照

ラシ重キニ從テ處斷ス例ハハ產物商品等ニ
押用スル官ノ記號印章ヲ偽造又ハ使用シタ
ル時ハ偽造官印ノ罪重シ第百九十六條ニ依
リ輕懲役ニ處ス若シ書籍什物ニ押用スル官
ノ記號印章ヲ偽造又ハ使用シタル時ハ偽造
官印ノ罪輕シ本條ノ刑ニ處ス可シ

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量
衡ヲ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス
本條ハ自カラ偽造變造シタルニ非ス他人ノ
偽造變造シタルヲ知リ爲メニ其度量衡ヲ

販賣シタル者ナレハ其情前條ノ犯人ヨリ輕
シ因テ一等ヲ減シ一年六月以上三年九月以
下ノ重禁錮七圓五十錢以上三十七圓五十錢
以下ノ罰金ニ處ス可シ

第二百二十九條 商賈農工定規ヲ増減シタル
度量衡ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ
重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス
若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺
取財ヲ以テ論ス

商賈農工ハ其商工農業上ニ於テ必ス度量衡ヲ使用ス可キ者ナリ若シ偽造又ハ變造シテ定規ヲ増減シタル度量衡ヲ所有シタル時ハ之ヲ商工農業上ニ使用スルノ目的ナルヲヲ知ル可シ故ニ止夕所有シタルノミヲ以テ一月以上三月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ禁制物ナルヲ以テ何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス可キモノトス若シ商賈農工其定規ヲ増減シタル度量衡ヲ賣買交換上納等ニ使用シテ利益ヲ得タル者

ハ即チ人ヲ欺瞞シテ財物ヲ取レハ詐欺取財ヲ以テ論シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ仍ホ其得タル利益ハ犯罪ニ因テ得タル物ナレハ之ヲ沒收ス可キモノトス

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

本條ハ偽造度量衡ノ職工ニシテ正犯ノ囑託ヲ受ケ之ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ナレハ其情之ヲ囑託シタル者ヨリ輕シ故ニ各一等

ヲ減ス例ハ第二百二十七條ノ犯人ヨリ囑託ヲ受ケタル時ハ一年六月以上三年九月以下ノ重禁錮七圓五十錢以上三十七圓五十錢以下ノ罰金ニ處シ第二百二十九條ノ犯人ヨリ囑託ヲ受ケタル時ハ二十三日以上二月八日以下ノ重禁錮一圓五十錢以上十五圓以下ノ罰金ニ處スルノ類

○第八節 身分ヲ詐稱スル罪

身分ハ人民各定リアリ然ルヲ貴ニシテ賤ト詐稱シ賤ニシテ貴ト詐稱ス是レ官ヲ瞞キ人

ヲ罔フ各其罰ナカル可カラス故ニ此一節ノ設ケアリ

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其屬籍身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ事ヲ申スル時ハ最モ誠實嚴肅ナラサル可カラズ然ルニ其屬籍平民ニシテ華士身分庶子ニシテ嫡子族ト稱スルノ類氏名年齢幼者ニシテ丁年以職業下等商人ニ人ト稱スルノ類ヲ詐稱シテ官署ヲ欺瞞スル者ハ假

令事ニ害ナシト雖モ其情惡ハ可キヲ以テ二
圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但官署ニ對
スルニ非ス旅店ニ投宿スル時詐稱スルハ此
條ノ問フ所ニアラス

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ
服飾徽章若クハ内外國ノ勳章ヲ僭用シタル者
ハ十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以
上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ官職ナキ者ニシテ官職アリト詐
稱シ位階ナキ者ニシテ位階アリト詐稱シ又

ハ官ノ服飾大禮服或ハ陸海軍及徽章勳章若
クハ内外國ノ勳章ヲ服用ス可キ權利ナキ者
ニシテ僭用シタル時ハ其官權ヲ侵シタル罪
重シ十五日以上二月以下ノ輕禁錮二圓以上
二十圓以下ノ罰金ニ處ス輕禁錮ニ處スルモ
ノハ其犯罪政府ノ權ヲ犯セハ少シク朝憲ヲ
紊亂スルニ似タレハナリ

○第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

公選ノ投票トハ政事上ニ關スル公選ノ投票
ニシテ即チ府縣會議員及ヒ其議長ヲ選舉ス

ル投票町村及ヒ區會議員及ヒ其議長ヲ選舉
スル投票數町村聯合會議員及ヒ其議長ノ選
舉スル投票戸長ヲ選舉スル投票町村ニ於テ
共同ニ關スル事項ヲ處分スル總代人ヲ選舉
スル投票ノ類ヲ云ヒ彼ノ銀行株式及ヒ米商
會社條例等ニ因テ公選スルモノハ此刑法ノ
關スル所ニアラス

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其
數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁
錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ議長議員戸長總代人等ヲ公選スル時
ニ當リ自己若クハ他人ヲ選ハン爲メ投票ヲ
偽造シ又ハ已ニ投票シタル數ヲ已レノ分ハ
之ヲ増シ他人ノ分ハ之ヲ減シ私ヲ行ニ公ヲ
害ス其罪詐欺ニ出ルト雖モ全ク政務上ニ關
スレハ一月以上一年以下ノ輕禁錮二圓以上
二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ
又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以
上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以

下ノ罰金ヲ附加ス

公選ノ際投票ノ權アル者ニ賄賂ヲ行テ己レ
ヲ投票セシメ又ハ投票ノ權アル者人ヨリ賄
賂ヲ受ケテ其人ヲ投票シタル時ハ乃チ利益
ノ爲メニ投票ヲ爲シ公選ノ實效ヲ害ス其罪
前條ヨリ重シ二月以上二年以下ノ輕禁錮三
圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計
算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ
六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四

十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ投票ノ正否ヲ檢査シ及ヒ投票ノ數ヲ
計算スル任アル者其職務信任ヲ顧ミスシテ
他人ノ爲メニ其投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増
減シタル時ハ其罪前條ヨリ更ニ重シ六月以
上三年以下ノ輕禁錮四圓以上四十圓以下ノ
罰金ニ處ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報
告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時
ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ投票ノ終リタル後ニ於テ其選ハレタル人名ノ調書ヲ造リ投票ノ落着ヲ報告スル任アル者他人ノ為メニ投票ノ員數ヲ増減シ其他詐偽ノ所為ヲ以テ人名ヲ取捨スルハ其管掌中ノ事ナレハ自カラ之ヲ犯スル最モ易ク他ヨリ之ヲ防ク最モ難シ故ニ前條ノ刑ヨリ更ニ重クシ一年以上五年以下ノ輕禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

○第五章

凡テ六節
二十一條

健康ヲ害スル罪

一般ノ人民ニ對シ健康ヲ害スル罪ヲ云フ一人又ハ數人ニ對シ健康ヲ害スル罪ハ第三編ニ之ヲ掲ケリ

○第一節 阿片烟ニ關スル罪

阿片烟ハ健康ヲ害スルノ之ヨリ甚シキモノナシ故ニ此章ノ始メニ之ヲ掲ケリ阿片烟ハ吸食ニ供スル阿片ヲ云ヒ藥用ニ供スル阿片ヲ云フニアラス其製法異ナレハナリ
第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

本條ノ意ハ國法ノ嚴禁ヲ犯シ阿片烟ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ内國ニ於テ之ヲ製造シ或ハ輸入製造シタルヲ販賣シタル者ハ乃チ一般ノ害ヲ顧ミスシテ止タ一己ノ利ヲ射ラントスルニアリ犯人ノ罰ヲ嚴ニシ禍源ヲ殄サレハ恐クハ其害忽チ蔓延センコトヲ故ニ之ヲ有期徒刑ニ處シ仍ホ阿片烟ハ何人ノ所有ヲ問ハス盡ク沒收シテ毀棄ス可シ

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕

懲役ニ處ス

阿片烟ハ其器具ヲ用ヒサレハ之ヲ吸食スルコトヲ得サルモノナリ故ニ其器具ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ内國ニ於テ之ヲ製造シ或ハ之ヲ販賣シタル者ハ亦一般ノ害ヲ顧ミスシテ止タ一己ノ利ヲ射ラントスルニアレトモ其罪タル阿片烟ニ比スレハ大ニ輕シ因テ之ヲ輕懲役ニ處ス仍ホ其器具ヲ沒收スルコトハ前條ノ如シ

第二百三十九條 稅關官吏情ヲ知テ阿片烟及

ヒ其器具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等ヲ加フ

税關官吏ハ其職務ニ於テ阿片烟及ヒ其器具ノ輸入ヲ檢覈ス可キ任ナルニ却テ其情ヲ知

テ之ヲ輸入セシメタル時ハ其所犯現ニ之ヲ輸入シタル者ヨリ重シ故ニ各一等ヲ加ヘ阿

片烟ヲ輸入セシメタルハ無期徒刑ニ處シ器具ヲ輸入セシメタルハ重懲役ニ處ス可シ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シテ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

阿片烟ヲ吸食スルニハ大抵寢所ニ於テ之ヲ

吸食シナカラ醉眠スルニアリ是故ニ阿片烟

ヲ吸食スル爲メ殊更ニ房屋ヲ設ケ之ヲ貸與

シテ利益ヲ圖ルアリ其罪器具ヲ輸入製造

スル者ト等シク輕懲役ニ處ス何故ナレハ其

房屋ノ爲メニ阿片烟ヲ吸食スルノ媒助ヲ爲

セハナリ先年兵庫縣下ニ於テ此犯人アリタ

ルヲ聞ケリ

人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者ニ
ハ或ハ其利慾ノ為メニ人ニ勸ムルヲアリ或
ハ戯ニ人ニ勸ムルヲアリ何レモ其人ノ之ヲ
吸食シタル時ハ輕懲役ニ處ス可シ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二
年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

阿片烟ハ之ヲ輸入製造販賣シタル者ヲ罰ス
ルノミナラス自カラ之ヲ吸食シタル者モ亦
嚴禁ヲ犯セハ其罪ヲ問ハサル可カラズ且之
ヲ罰セサル時ハ漸次蔓延セシムルヲ恐ル仍テ

二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所
有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ
重禁錮ニ處ス

阿片烟及ヒ吸食ノ器具ハ嚴禁ノ物ナレハ人
民私ニ之ヲ所有スルヲ得サルナリ若シ之
ヲ所有スル時ハ之ヲ吸食スルノ疑ヒナキ
能ハス故ニ之ヲ販賣吸食セスト雖モ止夕之
ヲ所有シ又ハ他人ヨリ預リタル者ト雖モ一
月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス阿片烟及ヒ

其器具若クハ阿片烟ニ因テ得タル利益ハ無論没收ス可キモノトス

○第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

衆人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シテ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタル罪ヲ云フ

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

飲料ノ淨水即チ神田玉川ノ淨水及ヒ井水等

ハ衆人一日モ缺ク可カラサル需用ノモノナリ之ニ死屍糞尿ノ類ヲ投擲シ其水ヲ汚穢シテ飲料ニ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタル者ハ其故意ニ出タルト其戲ニ爲シタルトヲ分タス十一日以上一月以下ノ重禁錮二圓以上五圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前條ハ淨水ヲ不潔ニ致シタルノミニシテ未
 タ人ノ健康ヲ害スルニ至ラサレトモ本條ハ
 毒質ノ物品ヲ用ヒテ淨水ノ性質ヲ變シ又ハ
 之ヲ腐敗セシメタル者ナレハ人ノ健康ヲ害
 スルコトアル可シ故ニ其罪前條ヨリ重シ一月
 以上一年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下
 ノ罰金ニ處ス

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾
 病又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ
 照シ重キニ從テ處斷ス

本條ハ毒質ノ物品ヲ用ヒテ淨水ヲ變シ又ハ
 腐敗セシメ因テ人ヲシテ其水ノ爲メニ疾病
 ニ罹ラシメ若クハ死ニ致シタル時ハ現ニ人
 ヲ損害シタルヲ以テ毆打創傷ノ各本條ニ照
 ラシ重キニ從テ處斷ス例ハ人ヲ二十日以
 上ノ時間疾病ニ罹ラシメタル時ハ第三百一
 條ニ照ラセハ一年以上三年以下ノ重禁錮ナ
 リ則チ第三百一條ノ重キニ從テ處斷シ其疾
 病ノ時間二十日ニ至ラサル時ハ第三百一條
 ニ照ラセハ一年以上一年以下ノ重禁錮ナリ

則チ前條ノ刑ヨリ輕シ此場合ニハ前條ノ罰金ヲ附加スルモノヲ以テ重ト爲シ處斷ス可キヲ云フ

○第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

傳染病ノ危害ニ於ケル之ヨリ劇シク且恐ル可キモノナシ故ニ嚴ニ之ヲ豫防スル爲メ設ケタル規則アリ其規則ニ違背スル者ヲ罰スルヲ云フ
檢疫停船規則、虎列刺病豫防規則、傳染疫牛處分假規則、傳染疫牛疫豫防法ノ類

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル

規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ意ハ船舶ノ入港スルニ當リ傳染病流行ノ地方ヨリ來ルカ或ハ其病患アル者ヲ乗載シタルヲ察スレハ檢疫吏ヲ發遣シ船内ヲ檢査セシメ及ヒ豫防規則ニ照ラシテ一時上陸ヲ禁止ス可シ若シ其規則ニ違背シテ上陸ヲ爲シ又ハ物品ノ陸揚ヲ爲シタル時ハ一

月以上一年以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス禁錮又ハ罰金ノ一二處スル所以ハ其所犯タル固ヨリ罰ス可シト雖モ船舶入港ノ際上陸ヲ欲スルハ一般人情ノ然ラシムル所ナレハ其情或ハ憫諒ス可キ者アリ

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

船長ハ船中ニ於テ一切ノ事務ヲ監督シ全權

ヲ有スル者ナレハ人ノ規則ニ違背シテ上陸スルヲアレハ直チニ之ヲ制止ス可キニ却テ自カラ上陸ヲ爲シ又ハ他人ノ上陸陸揚ヲ爲スヲ知テ之ヲ禁止セサル時ハ其罪乘客ノ犯シタルヨリ重クセサル可カラス仍テ前條ノ刑ニ一等ヲ加ヘ一月七日以上一年三月以下ノ輕禁錮又ハ二十五圓以上二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス可シ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他所ニ出タル者ハ十五

刑法講義 卷五
日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又八十圓以上
百圓以下ノ罰金ニ處ス

傳染病ノ流行スル地方ハ該地ヨリ他所ニ蔓
延セシメサル爲メ警察官吏ヲシテ嚴ニ其取
締ヲ爲シ人ノ其地方ヨリ出ルヲ禁セシム
若シ其規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他所ニ
出タル者ハ禁ヲ犯スノ罪アリト雖モ固ヨリ
警察上ノ懈怠アルニ非サレハ出ルヲ得ス
故ニ其罪輕シ十五日以上六月以下ノ輕禁錮
又八十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス其他傳

染病豫防規則ニ違背シタル罪ハ違警罪ノ本
條第四百二十六條ニ掲ケタリ

第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防
規則ニ違背シテ獸類ヲ他所ニ出シタル者ハ十
一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以
上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

獸類傳染病流行ノ際ニ於テモ亦他ノ獸類ニ
感染セシメサル爲メ警察官吏ヲシテ嚴ニ其
取締ヲ爲シ流行地方ヨリ獸類ヲ出スヲ禁
セシム若シ獸類ノ所有主又ハ看守人其規則

ニ違背シテ獸類ヲ他所ニ出シタル時ハ禁ヲ犯スノ罪アリト雖モ獸類ノ爲メナレハ前條ノ罪ヨリ更ニ輕クシ十一日以上二月以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

○第四節 危害品及ヒ健康ヲ害ス可キ物品製造ノ規則ニ關スル罪

危害品トハ破裂質ノ物品ヲ云ヒ健康ヲ害ス可キ物品トハ惡臭及ヒ毒質ノ物ヲ云フ此二ノモノハ公衆ノ危害健康ニ係ルヲ以テ官許

ヲ受ケ規則ニ從ハサレハ私ニ製造ス可カラ

サルヲ云フ銃砲、彈藥、雷管等製造所有及ヒ販賣ニ付テノ布告、危害品積込

規則、火藥庫圍線規則、火藥規則、紙雷管製造販賣ヲ禁スル布達、人家稠密ノ場所ニ於テ火止

石炭油製造場取設クルヲ禁スル布達ノ類ヲ云フ

第二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可

キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上

二百圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタ

ル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條前項ノ意ハ火藥其他激發ス可キ物品ノ

製造所ハ公衆ノ危害ニ係レハ必ス官許ヲ得
テ設立ス可シ若シ官許ヲ得スシテ之ヲ創設
シタル時ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ
處ス其他危害品ヲ運搬貯藏販賣スル等ハ違
警罪第四百二十五條ニ掲ケリ

本條後項ノ意ハ煤氣製藥製革等惡臭ヲ生ス
ル物ノ製造所ハ公衆ノ健康ヲ害スレハ官許
ヲ得テ之ヲ設立ス可シ若シ官許ヲ得スシテ
之ヲ創設シタルトモ其害前項ヨリ輕キヲ以
テ其半額ノ罰金ニ處ス其他健康ヲ保護スル

爲メ設ケタル規則ニ違背スル者ハ違警罪第
四百二十六條ニ掲ケリ

第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタ
ル製造所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ
保護スル規則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照
シ各一等ヲ減ス

官許ヲ得テ前條ニ記載シタル危害品及ヒ健
康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設スト雖モ
危害ヲ豫防スル規則ニ違背シ(例ハ規則ニ
背キ火藥ヲ貯藏シ及ヒ運搬シ又ハ蒸氣機關

ノ烟筒ヲ掃除セサルノ類又ハ健康ヲ保護スル規則ニ違背シタル時(例ヘハ市中ニ於テ牛ヲ牧シ又ハ火止石炭油ヲ製造スルノ類)ハ假令製造所ハ官許ヲ得タルニモセヨ一般ノ規則ヲ犯シタルヲ以テ前條ノ例ニ照ラシ一等ヲ減シ危害品ニ係ルハ十五圓以上百五十圓以下ノ罰金ニ處シ健康ヲ害ス可キ物品ニ係ルハ七圓五十錢以上七十五圓以下ノ罰金ニ處ス可シ

第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ

疾病死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ハ全ク規則ヲ遵守セサルニ因リ人ニ傷害ヲ加ヘ其故意ニ出タルニ非サレハ過失殺傷ノ各本條ニ照ラシ重キニ從テ處斷ス例ハ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シ因テ人ヲ死ニ致シタル時ハ過失殺ノ本條ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ナレハ過失殺ノ罪ノ重キニ從ヒ危害ヲ生ス可キ物品ノ製

造所ヲ創設シ因テ人ヲ疾病癆篤疾ニ致シタル時ハ第二百五十條ノ罪重シ孰レモ其重キ罪ニ從テ處斷ス可キヲ云フ

○第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

健康ヲ害ス可キ飲食物トハ毒質ノ物ヲ飲食物ニ混和シテ販賣スルヲ云フ腐敗シタル飲食物ヲ販賣スルハ違警罪健康ヲ害ス可キ藥劑トハ規則ニ背キ毒藥劇藥ヲ販賣スルヲ云フ賣藥劇藥取扱規則、藥用阿片賣買並製造規則、燐製ノ鼠取藥販賣禁止ノ達、アニリニ其規

屬製ノ繪具染料ヲ以テ飲食物ニ着色スルヲ禁スルノ達、賣肉規則、田面沼池溝渠ノ汚濁水ヲ以テ製セシ氷ハ貯藏販賣スルヲ禁スルノ達、牛乳搾取人取締規則、氷製造人並發賣人取締規則

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ意ハ人ノ健康ヲ害ス可キ物質ヲ用ヒ之ヲ飲食物ニ混和シ販賣シタル者ハ其事タル害ヲ一般ニ醸セトモ其情ヲ察スルニ止タ一己ノ利ヲ逞フシ敢テ人ヲ害スルノ意ニア

ラス仍テ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二百四十四條ニ記載シタル健康ヲ害ス可
 キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變スルカ如キハ自カ
 ラ人ヲ害スルノ意アリ故ニ人ヲ死傷ニ致ス
 時ハ毆打創傷ノ各本條ニ照ラセトモ本條ニ
 於テハ人ヲ死傷ニ致スモ止夕過失殺傷ノ罪
 ヲ問フノミ但其物品ハ之ヲ沒收ス
 第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ
 販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處
 ス

本條ハ賣藥規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣
 シタル罪ヲ云フ例ハ藥商ニシテ醫師ノ保
 證ヲ所持セサル者ニ毒藥劇藥ヲ販賣シ又ハ
 司藥場ニテ毒藥劇藥ノ印紙ヲ用ヒスシテ販
 賣スルノ類ハ其罪職業上ノ犯則ナレハ前條
 ニ比スレハ稍ヤ重シ十圓以上百圓以下ノ罰
 金ニ處ス但人ヲ殺スノ情ヲ知テ毒藥ヲ販
 賣シタル時ハ第二百九十三條ノ從犯ト爲シ
 テ論シ人ヲ疾苦セシムルノ情ヲ知テ健康ヲ
 害ス可キ物品ヲ販賣シタル時ハ第三百七條

ノ從犯ト爲シテ論ス可シ

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シ又ハ毒藥劇藥ヲ販賣シ之カ爲メ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル時ハ全ク販賣者ノ不注意ヨリ出テ故サラニ犯シタルニ非カレハ過失殺傷ノ各本條ニ照ラシ重キニ從テ處斷ス例ハ人ヲ死ニ致シタル時ハ第三百十七條

ニ照ラセハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ナリ人ヲ疾病ニ致シタル時ハ第三百十九條ニ照ラセハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ナリ乃チ第二百五十三條第二百五十四條ト比較シ孰レカ罰金ノ重キ者ヲ以テ處斷ス可キヲ云フ

○第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪

醫道ハ人ノ生死ニ關スレハ必ス官ノ試験ヲ經官ノ免狀ヲ得タル醫師ニ非サレハ之ヲ行フヲ得ス故ニ私ニ醫業ヲ行フ者ハ則チ公

衆ノ健康ヲ害スル罪ト爲ス

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
醫術開業免狀ヲ得ルヲナクシテ私ニ醫業ヲ行ヒ他人ノ爲メニ疾病ヲ治療シタル者ハ其謝儀ヲ受クルト否トヲ問ハス又ハ醫術ノ本法ヲ誤ラス若クハ人ヲ傷害スルヲナシト雖モ官令ニ背キ擅ニ人ノ生命ニ係ル可キ事業ヲ行ヒタルヲ以テ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條ノ意ハ私ニ醫業ヲ行ヒタル者其治療ノ本法ヲ誤リ因テ人ヲ死ニ致シ又ハ切斷法ヲ行フテ誤テ人ヲ傷シタルモ固ヨリ人ヲ療癒セント欲シテ却テ其術ノ拙キカ爲メニ人ニ傷害ヲ加ハタルニアレハ其故意ニ非サルヲ知ル可シ故ニ過失殺傷ノ各本條ニ照ラシ重キニ從テ處斷ス即チ人ヲ死ニ致シタル時ハ

第三百十七條ニ照ラシ人ヲ創傷シテ疾病休業ニ至ラシムル時ハ第三百十九條ニ照ラシ前條ノ刑ト比較シ孰レカ罰金ノ重キ者ニ從テ處斷ス可シ

○第六章凡テ六條風俗ヲ害スル罪

風俗ヲ害スル罪トハ猥褻賭博及ヒ神佛ニ對スル不敬等ノ罪ニシテ一般ノ風儀習俗ヲ害スルヲ云フ

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

公然猥褻ノ所行トハ公衆ノ目前ヲ憚ラス見ルニ忍ヒサル淫事ヲ爲シ又ハ陰部ヲ見ハシ一般ノ品行ヲ害シ風俗ヲ亂ルヲ云フ第三百四十六條第三百四十七條ノ猥褻ノ所行ハ必スシモ衆人ノ目前ニ非サル所ニ於テ犯シタル者ナレハ被害者又ハ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス可キ者ナレトモ本條ハ衆人ノ目前ニ於テ犯シタル者ナレハ告訴ヲ待タス三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス但道路ニ於テ裸體シ又ハ放尿スル者ハ猥褻ノ所行ヲ以

テ論ス可キ者ニアラス

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他
猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ
四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

風俗ヲ害スル冊子圖畫トハ淫事ヲ記載シタ
ル冊子肉蒲團及ヒ春畫ヲ云フ其他猥褻ノ物
品トハ陰陽ノ形ニ模擬シタル物件ヲ云フ是
等ノ物品ハ風俗ヲ害シ人ノ品行ヲ亂ル_ト其
シケレハ其製造及ヒ賣買ヲ嚴ニ禁制シタル
者トス若シ衆人縱覽スル所ノ店頭ニ公然ト

之ヲ展肆シ又ハ之ヲ販賣シタル時ハ四圓以
上四十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其物品ハ没
收シテ破毀ス可キモノトス前條ヨリ罰金ヲ
重クスル所以ノモノハ本條ハ利慾ヨリ生シ
タル罪ナレハナリ公然ノ字最モ注意シテ見
ル可シ公然ニ非スシテ陳列シ又ハ密ニ販賣
スル者ハ本條ノ敢テ問フ所ニアラス

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ
博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重
禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條及ヒ次條ハ博奕ノ罪ヲ云フ博奕ハ國寶
 ヲ玩物トシテ勝負ヲ決スルヲニテ其弊害タ
 ルヤ人民ヲシテ各自ノ事業ヲ棄テ遊惰ニ流
 レ遂ニ其家産ヲ破却スルニ至ラシム其弊ヲ
 救ハンニハ首タル者ヲ嚴ニ處分スルノ外ナ
 シ故ニ博奕場ヲ開張シテ利ヲ圖ル者割烹店
 待合茶屋船宿旅店等ニテ賃料ヲ得テ其場所
 ヲ給與スル者皆是ナリ又ハ博奕ノ催主ト爲
 テ博徒ヲ招集シタル者ハ現行犯ト非現行犯
 トニ拘ハラス三月以上一年以下ノ重禁錮十

圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
 第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲
 シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ
 五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知
 テ房屋ヲ給與シタル者亦同シ但飲食物ヲ賭ス
 ル者ハ此限ニ在ラス
 賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス
 本條ハ前條ニ記載シタル博徒ノ招集ニ應シ
 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者又ハ博
 奕ノ情ヲ知テ房屋ヲ給與スレトモ利ヲ圖ラ

サル者ヲ云フ其情ヲ察スルニ前條ヨリ輕シ
博奕ヲ爲シタル者ハ現行犯ニ限リ房屋ヲ給
與シタル者ハ現行犯非現行犯ニ拘ハラヌ一
月以上六月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以
下ノ罰金ニ處ス但飲食物ハ財物ト異ナリ之
ヲ賭スルモ一時ノ戲ニ出ルモノナレハ家産
ヲ破ルノ患ナシ故ニ之ヲ賭スルトモ博奕ヲ
以テ論ス可カラス
賭博ノ器具骰子骨牌ノ類及ヒ財物ノ博奕場
ニ現在スル者ハ之ヲ沒收ス博徒ノ懷中ニ藏

△ル財物ハ假令贏得タルモノト雖モ之ヲ沒
收スルヲ得サルモノトス路上ニ於テ賭博
ニ類スル商業ヲ爲シタル罪ハ違警罪第四百
二十八條第四項ニアリ
第二百六十二條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利
益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上
六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス

富籤ハ博奕トハ自カラ異ナレトモ人心ヲ攪
亂シ事業ヲ放棄シ家産ヲ破却スル等ニ至テ

ハ其害一ナリ故ニ賭博ニ類似シタルヲ以テ
嚴ニ之ヲ禁制シタリ若シ私ニ許多ノ財物ヲ
醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ家業ヲ
興行シタル者ハ乃チ社會ヲ害シ人心ヲ惱亂
ス仍テ一月以上六月以下ノ重禁錮五圓以上
五十圓以下ノ罰金ニ處ス富籤ノ票ヲ賣買シ
タル者ハ罪ノ問フ可キナシト雖モ現場ノ財
物ハ各本主ニ還付ス可キ者ナラン

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ
對シ公然不敬ノ所為アル者ハ二圓以上二十圓

以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上
四十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ神佛ニ對シ無禮ノ所行ヲ為シタル罪
ヲ云フ神祠ハ神ヲ祭ル所佛堂ハ佛ヲ安置ス
ル所墓所ハ遺骸ヲ埋ムル所禮拜所ハ神佛ヲ
拜禮スル所並ニ一般人民ノ之ヲ尊敬ス可キ
ヲハ古來風習ノ然ラシムル所ナリ若シ其風
習ヲ顧ミス衆人ノ目前ニ於テ甚シキ無禮ノ
所行ヲ為シ神佛ヲ侮慢シタル者ハ乃チ一般

ノ風俗ヲ害スル罪ト爲シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス其他墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シ若クハ神祠佛堂ヲ汚損シタル罪ハ違警罪第四百二十六條第十項及ヒ第十一項ニ見ハタリ

若シ教導職ノ衆人ヲ聚メテ説教ヲ爲シ又ハ宗徒ノ神佛ヲ祭リ禮拜ヲ爲スニ當リ之ヲ妨害シテ其事ヲ果サ、ラシムル者ハ當ニ神佛ニ對シ不敬ヲ爲シタルノミナラス衆人信仰ノ人ニ對シ侮辱ヲ爲シタルニアレハ其情前

項ヨリ更ニ重シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

○第七章 凡テ三條 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

此章ハ死者ニ對シ侮辱ヲ加フル爲メ其死屍ヲ殘毀遺棄シ及ヒ墳 高キ者ヲ云フ 墓 平カナル者ヲ云フ ヲ發掘スル罪ヲ云フ

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ未タ埋葬セサル死屍ヲ殘毀シ又ハ埋葬ノ勞ヲ厭ヒ道路水中ニ之ヲ遺棄シタル者ハ其屍ヲ失フニ至ラスト雖モ死者ニ對シ暴虐ヲ加フレハ一月以上一年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者及ヒ自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知リ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シタル者ハ違警罪第四百二十五條第七項第八項ニ見ヘタリ

第二百六十五條 墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死

屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ利慾若クハ宿怨ヲ以テ他人ノ墳墓ヲ發掘シ其穴ヲ穿チテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ其情狀甚タ惡ム可シ之ヲ毀損スルヲナシト雖モ其罪二月以上二年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス皇

陵ニ對スル不敬ノ罪ハ第一百十七條ニ見ハタ
リ

因テ死屍ヲ殘毀遺棄シタル者ハ其情更ニ重
シ三月以上三年以下ノ重禁錮五圓以上五十
圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十六條 此章ニ記載シタル罪ヲ犯サ
ントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照
シテ處斷ス

此章ニ記載シタル罪ハ輕罪ト雖モ其罪ノ性
質惡シキモノナルヲ以テ未遂犯罪ノ時之ヲ

不問ニ措カス故ニ墳墓ヲ發掘スレトモ棺槨
死屍ヲ見ハサル者ハ未遂犯罪ヲ以テ論ス
可キモノナリ

◎第八章六條 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪
他人ノ商業農業工業ヲ妨害シテ自由ニ之ヲ
行フヲ得サラシムル罪ヲ云フ

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其
他衆人ノ需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買
ヲ妨害シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮
ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者ハ一等ヲ減ス

本條ノ意ハ計略ヲ用ヒ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ穀物其他衆人ノ日用ニ缺ク可カラサル食用物味噌醬油茶鹽ノ類ノ賣買ヲ妨害シテ之ヲ爲サ、ラシメ因テ自己ノ利益ヲ逞フセントスルニアリ其害ヲ爲スト特リ商人ニ止ラス一般公衆ニ係レハ一月以上六月以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス但炭薪油ノ類ハ需用ニ缺ク可カラサル者ト雖モ

食用物ニ非サレハ後項ニ入レ減等ス可キ者トス併シナカラ前項ニ記載シタル需用品ニ非サル他ノ雜物ハ衆人ノ日用缺ク可カラサル物ニ非サレハ其賣買ヲ妨害スルト雖モ公衆ノ害ヲ爲ストモ亦少ナシ故ニ一等ヲ減シ二十三日以上四月十五日以下ノ重禁錮二圓二十五錢以上二十二圓五十錢以下ノ罰金ニ處ス可シ

第二百六十八條 偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下

ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

本條ハ計略ヲ用ヒ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ財
産ノ競賣又ハ入札請負及ヒ賣拂ヲ爲ス者ヲ
妨害シテ之ヲ爲サ、ラシメ因テ他人ノ商業
ヲ害シ自己ノ利ヲ專ラニセシトス然レトモ
一般公衆ヲ害スルヲ無ケレハ其情前條ヨリ
輕シ仍テ十五日以上三月以下ノ重禁錮二圓
以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十九條 偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ

業ヲ妨害シタル者ハ亦前條ニ同シ

本條ハ計略ヲ用ヒ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ農
夫ノ農業ヲ妨害シ又ハ工夫ノ工業ヲ妨害シ
因テ他人ノ利ヲ損シ自己ノ利ヲ專ラニセン
トス其情前條ノ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル
者ト異ナラス故ニ前條ノ刑ト同シク十五日
以上三月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下
ノ罰金ニ處ス

第二百七十條 農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ
又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ

他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ農業ノ雇人開墾耕作等ニ及ヒ工業ノ雇人礦坑製作等ニ其賃錢ヲ増給セシメ又ハ

農業工業ノ景況ヲ變改セシムル爲メ時間ヲ短縮増加セシメ又ハ人員相與ニ商謀シテ計略ヲ

用ヒ又ハ暴行脅迫ヲ爲シテ其雇主ニ對シ妨害ヲ爲シ

害ヲ爲シ工事を廢棄シ又ハ他ノ雇人ヲ若クハ他ノ雇主ニ僱ハル、雇人ニ對シ妨害ヲ爲

シタル者ハ他ノ雇人ノ農業工業ヲ爲スル其所犯前二條ヨリ重シ仍テ第二百六十七條ノ

刑ト同シク一月以上六月以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ヌ若シ本條ノ罪

ヲ犯スカ爲メニ多人數ヲ嘯聚シテ暴動ヲ爲シタル時ハ兇徒聚衆ノ本條ニ照ラシテ處斷ス可キモノトス

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況ヲ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條

シタル者ハ亦前條

二 同シ

本條ハ農工業ノ雇主ヨリ其雇人ノ賃錢ヲ減
 セシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變改セシムル爲
 メノ工作ノ時間ヲ短クスルノ類 計略ヲ用ヒ又ハ
 暴行脅迫ヲ爲シテ雇人ニ對シ妨害ヲ爲シ職
 人ヲ廢止シ又ハ他ノ雇人ニ對シ妨害ヲ爲シ
 害ヲ爲シタル者ハ他ノ雇主ヲ變セシムル爲メ
 ニ從來ノ雇人ヲ使用ス 其罪前條ノ雇人ヨリ
 ルヲ故障スルノ類 雇主ニ對シ妨害ヲ爲シタルト異ナルヲ無シ
 仍テ前條ノ刑ト同シク一月以上六月以下ノ

重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス可
 シ

第二百七十二條 虚偽ノ風説ヲ流布シテ穀類
 其他衆人需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者
 ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

穀類其他味噌醬油茶鹽炭薪油衣服木材等ハ
 人民一般ノ需用品ニシテ缺ク可カラサルモ
 ノナリ若シ虚偽ノ風説ヲ流布シ或ハ戰爭ア
 リト偽リ或ハ天災アリト欺キ穀類又ハ物品
 ノ價直ヲ騰貴シ若クハ下落セシメタル者ハ

全ク人心ヲ惑亂シテ自己ノ利益ヲ逞フセン
トスルニアリ其情惡ム可シ仍テ十圓以上百
圓以下ノ罰金ニ處ス併シナカラ公債證書洋
銀金銀貨株券等ノ相場ヲ昂低スルハ一般人
民ノ需用品ニ非サレハ本條ノ問フ所ニ在ラ
ス

○第九章凡テ三節 官吏瀆職ノ罪

此章ハ特ニ官吏タル者其信任セラレタル職
務ヲ正當ニ執行セス却テ之ヲ褻瀆シタル罪
ヲ云フ即チ官吏タル者ノ職務ヲ行ハス又ハ

人民ノ權利ヲ妨害シ及ヒ其自由ヲ束縛シ若
クハ贓罪ヲ犯ス等ナリ

○第一節 官吏公益ヲ害スル罪

官吏其職務ヲ行ハスシテ一般ノ公益ヲ損害
スルヲ云フ

第二百七十三條 官吏其管掌ニ係ル法律規則
ヲ公布施行セス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨
害シタル者ハ二月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處
シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ官吏責任アル者ハ郡戸長ニ至ル

マテ皆是レナリ故サラニ其職務管掌ニ於テ
必ス法律規則ヲ公布ス可キニ之ヲ公布セス
〔地方長官ノ如キハ職務上必ス公布ス可キ
アリ〕又ハ政府ヨリ已ニ公布シタル法律規則
ヲ施行セス若クハ他ノ官吏ノ之ヲ公布施行
スルヲ妨害シタル時ハ之カ爲メ一般ノ公益
ヲ害シ人民ニ損害ヲ加フルヲアラシム
月以上六月以下ノ輕禁錮十圓以上五十圓以
下ノ罰金ニ處ス是レ職務上ノ犯罪ナレハ輕
禁錮ヲ用ヒテ重禁錮ヲ用ヒス然レトモ總則

第三十三條ニ照ラシ禁錮ノ刑ナルヲ以テ無
論現任ノ官職ヲ失フ可シ以下倣之

第二百七十四條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用
スル權アル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮
撫ス可キ時ニ當リ其處分ヲ爲サ、ル者ハ三月
以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上百圓
以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ノ意ハ地方長官タル者ハ其地方ニ於テ
人民ノ一揆暴動ヲ爲ス可キノ際ニ當リ警察
ノ力ヲ以テ之ヲ鎮撫スルニ足ラサルヲ察

刑罰書 卷五
スル時ハ兵隊ヲ各鎮臺ニ要求シ及ヒ之ヲ使
用スルノ權アリ然ルニ此際ニ當リ兵隊要求
ノ處分ヲ行ハサル時ハ兇徒忽チ蔓延シ爲メ
ニ良民ヲ疾苦セシムルヲ多カラシム仍テ三月
以上三年以下ノ輕禁錮二十圓以上百圓以下
ノ罰金ニ處ス若シ將校タル者要求ヲ受ケテ
故サラニ出兵ヲ爲サル時ハ第百七十七條
ニ於テ二月以上二年以下ノ輕禁錮五圓以上
五十圓以下ノ罰金トアリ第百七十七條ヨリ
本條ノ刑重キモノハ直轄スヘキ官吏ニシテ

其處分ヲ爲サルハ自カラ職務ヲ放棄シ且
人民ノ疾苦ヲ顧ミサレハ其情重シトス
第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ
爲シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ
處ス

本條ハ官吏商業ヲ爲シタル罪ヲ云フ一體官
吏タル者ハ俸給ノ爲メニ其身ヲ官ニ致シタ
レハ決シテ商業ヲ爲シ利益ヲ圖ル可カラサ
ルモノナリ若シ官吏ニシテ商業ヲ爲ス時ハ
忽チ鄙吝ノ心ヲ生シ其職務ヲ慢ニシテ私利

ヲ専ラニスルヲアル可シ故ニ明治八年四月
第六十五號ヲ以テ官吏タル者ハ其家族ト雖
モ商賈ノ營業ヲ爲スヲ禁止シタル規則アリ
若シ其規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者
ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス此刑
法ニ於テ罰金ハ本條ヲ以テ最多額トス
八年四月第六十五號ノ達ヲ左ニ記載シテ官
吏タル者ノ鑑ト爲ス

第一條 凡ソ官吏タル者並ニ其家族トモ他
ノ物品ヲ買入レ之ヲ餘人ニ賣以テ利ヲ獲ル

モノ或ハ他ノ生産ヲ買入レ製作ヲ加ヘ之ヲ
販賣シテ利ヲ獲ル等ノ業一切禁止ノ事

但區戸長郵便取扱人學區取締役及等外吏ノ
分ハ此限ニアラス

第二條 官吏ノ家族自己ノ財ヲ以テ商賈ノ
業ヲ營マント欲スル者ハ分籍別居ノ上相營
ムヘキ事

第三條 左ノ數件ハ商賈ノ業ニアラサルニ
付官吏タル者ト雖モ制禁ニアラサル事
但商賈同様ノ店ヲ開クハ不相成候事

一 礦山田地ヲ所有シ其利ヲ獲ル事

一 田地家屋ヲ貸シテ地代宿賃ヲ獲ル事

一 金銀ヲ貸シテ利息ヲ獲ル事

一 所有地ヨリ生スル物産ニ製作ヲ加ヘ賣拂
事

○第二節 官吏人民ニ對スル罪

官吏職務ヲ以テ人民ノ權利ヲ妨害シ及ヒ其
身體ノ自由ヲ束縛シ又ハ人民ノ賄賂ヲ貪ル
等ノ罪ヲ云フ

第二百七十六條 官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシ

テ其權利ナキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權
利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕
禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス

官吏其職務上威權ヲ用ヒ擅ニ人ヲシテ其權
利ナキ事ヲ行ハシメ〔例〕ハ銃獵免狀ヲ所持
セサル者ニ鳥獸ヲ銃獵セシムルノ類又ハ其
爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者〔例〕ハ議員ノ
投票ヲ爲ス可キ權利アル者ヲシテ其投票ヲ
爲サ、ラシムルノ類ハ孰レモ官吏ノ職掌ヲ

濫リ不當ノ處分ヲ爲セハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス若シ之ニ反對シテ人民ヨリ官吏ニ對シ其爲ス可カラサル事件ヲ行ハシメタル者ハ第一百三十九條ニ見ヘタリ

第二百七十七條 人ノ身體財産ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢事警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ、ル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

豫審判事檢事警察官吏タル者ハ治罪法第三編第八節ニ於テ現行犯ノ罪人アルヲ知レハ直チニ犯所ニ到リ檢證ヲ爲シ相當ノ處分ヲ爲ス可キヲ定メタリ若シ人ノ身體及ヒ財産ニ對シ妨害ヲ爲ス犯人アルヲ報告ヲ受ケ例ハ擅ニ人ヲ監禁制縛シ又ハ家屋物件ヲ毀壞劫奪燒燬スルノ類ヲ云フ速カニ犯所ニ到リ犯人ヲ逮捕シ被害者ヲ保護スルノ處分ヲ爲サ、ル時ハ乃チ其職務怠慢ナルヲ以テ十五日以上三月以下ノ輕禁錮二圓以上

二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程
式規則ヲ遵守セスシテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ
人ヲ監禁シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重
禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加
ス但監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フ
逮捕官吏トハ檢事司法警察官巡查等ヲ云フ
各其職務ニ於テ犯人ヲ逮捕シ又ハ監禁スル
トアルハシト雖モ人ヲ逮捕監禁スルニハ必
ス治罪法ニ定メタル逮捕監禁ノ程式ノ書式規

則^{手續}ヲ遵守ス可シ若シ不正ニ人ヲ逮捕シ
又ハ正當ニ人ヲ逮捕スレトモ不正ニ監禁シ
タル時ハ其職務ヲ濫用シ且人民ノ權利ヲ妨
害ス仍テ十五日以上三月以下ノ重禁錮二圓
以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但不正ノ監禁
日數十日以上ハ一等ヲ加ヘ十八日以上三月
二十二日以下ノ重禁錮二圓五十錢以上二十
五圓以下ノ罰金ニ處シ二十日以上ハ二等ヲ
加ヘ二十二日以上四月十五日以下ノ重禁錮
三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ四十日以

上ハ四等ヲ加ヘテ一月以上六月以下ノ重禁
錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處スルノ類
以下此例ニ倣ハ
前二條ハ官吏職務上ノ犯罪ナルヲ以テ輕禁
錮ニ處スレトモ本條ハ等シク官吏ノ犯罪ナ
ルニ重禁錮ニ處スルモノハ官吏ニシテ法律
ヲ遵守セズ擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ人ヲ監禁シ
テ其自由ヲ束縛スレハ情狀甚タ惡ム可キ者
トス故ニ官吏擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪ハ平
人ノ犯シタル罪ヨリ重シ平人ノ犯シタル罪

ハ第三百二十二條ニ十一日以上二月以下ノ
重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金トアリ
第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セ
スシテ囚人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム
可キノ時ニ至リ之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ
例ニ同シ

司獄官吏ハ囚人ヲ監禁ス可キ職掌ナリト雖
モ其之ヲ監禁スルニハ必ス其程式規則ニ照
依ス可シ若シ程式規則ヲ遵守セズ擅ニ囚人
ヲ監禁シ若クハ行政長官ヨリ囚人ヲ出獄ス

可キ命ヲ受ケ又ハ刑期滿限ノ日ニ至リ之ヲ
解放セス故サテニ監禁シタル者ハ其情前條
ニ異ナルコトナシ因テ前條ト同シク十五日以
上三月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ
罰金ニ處ス其監禁日數十日ヲ過クル毎ニ一
等ヲ加フルコトモ亦前條ニ同シ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ
護送者囚人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻
ノ所爲ヲ施シタル者ハ三月以上三年以下ノ重
禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加

ス

因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷ノ各
本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

前二條ニ記載シタル逮捕官吏司獄官吏又ハ
囚人ノ護送者ハ其職掌上囚人ヲ嚴重ニ檢束
ス可シト雖モ之ヲ遇スル成ル可ク愛恤ヲ加
フ可シ若シ囚人ニ對シ其飲食ヲ減殺シ衣服
ヲ脱去シ其他殴打拷責等苛刻ノ所爲ヲ行ヒ
タル者ハ乃チ私意ヲ挾サミ職務ヲ肆マ、ニ
ス未タ傷害ヲ加ヘスト雖モ三月以上三年以

下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス但平人ノ擅ニ人ヲ監禁シ飲食衣服ヲ屏去シタル罪ハ第三百二十三條ニ二月以上二年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金トアリ

若シ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ通常人ヲ毆打シテ殺傷シタルヨリ情狀重シ仍テ毆打創傷ノ各本條ニ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス例ハ囚人ヲ癱疾ニ致セハ第三百一條ニ一等ヲ加ヘテ處斷シ囚人ヲ疾病休業ニ至ラシ

ハルヲ二十日以内ナレハ本條ノ罪重シ本條ノ刑ニ處斷スヘキヲ云フ

第二百八十一條 水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解クヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

水火震災ノ際ニハ司獄官吏タル者ハ速カニ監禁シタル罪囚ヲ解放ス可シ若シ其職務ヲ怠リ囚人ノ監禁ヲ解放セス因テ死傷ニ致シタル者ハ其故意ニ出タルニ非スト雖モ其罪前條ノ後項ト同シク毆打創傷ノ各本條ニ照

ラシ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス但平人撞
ニ人ヲ監禁シテ水火震災ノ際其監禁ヲ解ク
ヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル罪ハ第三百二
十五條ニ見ヘタリ

第二百八十二條 裁判官檢事及ヒ警察官吏被
告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加
ヘ又ハ陵虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下
ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷ノ

各本條ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

本條ハ裁判官檢事及ヒ警察官吏タル者被告

人ヲ訊問スルニハ成ル可ク證據ヲ示シ平穩

ニ白狀セシメ決シテ恐嚇詐言ヲ用フ可カラ

ス若シ被告人ニ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴

行ヲ加ヘ拷訊ヲ爲又ハ陵虐ノ所爲算盤上ニ

テ石ヲ抱シメ又懸クル類ヲ施シタル時ハ則チ治罪法

ハ空ニ懸クル類ヲ施シタル時ハ則チ治罪法

ノ法式ニ背キ徒ラニ人ヲ苦楚セシム其情狀

惡ム可シ仍テ四月以上四年以下ノ重禁錮五
圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ前二條ノ如ク殴打創傷ノ各本條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス例ハ被告人ヲ死ニ致シタル時ハ第二百九十九條ニ照ラシ一等ヲ加ヘ有期徒刑ニ處シ若シ二十日以上ノ時間疾病休業ニ至ラシムル時ハ第三百一條ニ一等ヲ加フルト雖モ仍ホ本條ノ刑重シ此時ハ本條ニ從テ處斷ス可キヲ云フ

第二百八十三條 裁判官檢察官故ナクシテ刑事ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者

ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ

本條ハ裁判官又ハ檢察官

檢事及ヒ違警罪裁判所ノ警部ヲ包括ス

ニ對シ犯罪ヲ告訴告發スルニ相當ノ事故

ナクシテ其告訴告發ヲ受理セス又ハ之ヲ受

クルモ遷延シテ審理セサル者ハ社會ノ害ヲ

顧ミスシテ其職務ヲ行ハス仍テ十五日以上

三月以下ノ輕禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰

金ニ處ス

裁判官民事ノ訴ヲ受理セス又ハ遷延シテ審
理セサル者モ亦人民ノ損害ヲ顧ミス其職務
ヲ行ハサレハ前項ト同刑ニ處ス

第二百八十四條 官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ
收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年
以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰
金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

本條ハ裁判官檢事警察官吏等ニ非サル一般
ノ官吏ニシテ其職務ニ關シ人ヨリ不正ノ囑

託ヲ受ケ爲メニ金額物件ノ賄賂ヲ收納シ又
ハ之ヲ贈與スルヲ聽許シタル者ハ未タ不
正ノ處分ヲ爲サスト雖モ一體官吏ノ私ヲ行
フハ賄賂ノ惡弊ヨリ甚シキハナシ故ニ一月
以上一年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下
ノ罰金ニ處ス

若シ賄賂ノ爲メニ不正ノ處分ヲ爲シタル時
ハ已ニ職務ヲ瀆シ私情ヲ遂クレハ其情重シ
前項ノ刑ニ一等ヲ加ヘ一月七日以上一年三
月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金

ニ處ス可シ仍ホ其賄賂ハ没收ス可キ者トス
 本條以下其賄賂ヲ行ヒタル者ハ其財物ヲ損
 失スルニ止ツテ別ニ罪ナシ是レ畢竟人民ヨ
 リ賄賂ヲ以テ請求スルモ官吏ニ於テ決シテ
 之ヲ受ク可カラサル者トス故ニ之ヲ受クレ
 ハ特ニ官吏ヲ罰スルノミニシテ足レリ
 第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ
 賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以
 上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以
 下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ
 本條ハ裁判官民事訴訟ノ裁判ニ關シ原告人
 又ハ被告人ヨリ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收納シ又
 ハ之ヲ贈與スルヲ聽許シタル者ハ之カ爲
 メ不當ノ裁判ヲ爲サスト雖モ裁判官ニシテ
 賄賂ヲ受クルノ意アル時ハ其裁判公平ヲ持
 ツト能ハス且一般ノ信用ヲ失フ可シ仍テ二
 月以上二年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以
 下ノ罰金ニ處ス仍ホ其官職ヲ失フ可シ
 若シ賄賂ノ爲メニ不正ノ裁判ヲ爲シタル時

ハ必ス一方ニ對シ損害ヲ被ラシムルコトアラ
ン其情重シ仍テ一等ヲ加ヘ二月十五日以上
二年六月以下ノ重禁錮六圓二十五錢以上六
十二圓五十錢以下ノ罰金ニ處ス可シ

第二百八十六條 裁判官檢事警察官吏刑事ノ
裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタ
ル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓
以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以
下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ

附加ス

其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下
ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金
ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ
時ハ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ照
シテ反坐ス

本條ハ裁判官檢事警察官吏刑事ノ裁判ニ關
シテ人ヨリ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ之
ヲ贈與スルコトヲ聽許シタル者ハ其害人ノ罪
ヲ出入スルニアレハ民事ノ裁判ニ關スルコト

リ情狀負カニ重シ假令法ヲ枉ケスト雖モ二
 月以上二年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以
 下ノ罰金ニ處ス
 若シ賄賂ノ爲メニ被告人ヲ曲庇シテ其罪ヲ
 出シタル者ハ乃チ利慾ノ爲メニ法律ヲ枉ク
 レハ其情更ニ重シ三月以上三年以下ノ重禁
 錮十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
 若シ賄賂ノ爲メニ被告人ヲ陷害シテ全罪ニ
 入レ或ハ輕キ罪ヲ重キ罪ニ入レタル者ハ乃
 チ利慾ノ爲メニ人ヲ陷害スレハ官吏ノ瀆職

ニ於テ之ヨリ甚シキハナク其情ニ於テモ之
 ヨリ惡ムハキハナシ仍テ一年以上五年以下
 ノ重禁錮二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處
 ス若シ陷害ニ因テ被告人ノ現ニ處斷セラレ
 タル刑茲ニ記載スル所ノ刑ヨリ重キ時ハ第
 二百二十一條第二百二十二條ノ偽證ノ例ニ
 照ラシテ處斷ス例ハ重禁錮ニ處ス可キ罪
 ヲ枉斷シテ重懲役ニ處セラレタル後其陷害
 ノ罪發覺シタル時ハ第二百二十一條ノ例ニ
 照ラシ重懲役ニ反坐ス其刑期限内ニ陷害ノ

罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數マテ
 反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得若シ被告人ヲ死
 ニ陥ルノ目的ヲ以テ枉斷シテ死刑ニ處シタ
 ル時ハ第二百二十二條ニ照ラシ死刑ニ反坐
 ス若シ未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ陷害ノ
 罪發覺シタル時ハ一等ヲ減スルノ類ヲ云フ
 第二百八十七條 裁判官檢事警察官吏賄賂ヲ
 收受聽許セスト雖モ情ニ徇カヒ又ハ怨ヲ挾サ
 ミ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例ニ
 同シ

裁判官檢事警察官吏人ヨリ賄賂ヲ收受シ及
 ヒ之ヲ聽許セスト雖モ其私情ヲ肆マ、ニシ
 若クハ宿怨ヲ挾サミ故サラニ法ヲ枉ケ被告
 人ヲ曲庇陷害シテ其罪ヲ出入シタル者ハ亦
 前條ニ記載シタル曲庇陷害ノ區別ニ從ヒ同
 刑ニ處スルヲ云フ

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已
 ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ
 其價ヲ追徴ス

第二百八十四條 第二百八十五條 第二百八十

六條ニ記載シタル人ヨリ囑託ヲ受ケ已ニ收受シタル賄賂ハ之ヲ官ニ没收シ已ニ費用シタル時ハ其賄賂ノ價額ニ當ル金圓ヲ追徴シ止テ聽許シタル者ハ之ヲ追徴セス

○第三節 官吏財産ニ對スル罪

官吏其委任セラレタル職務ニ關シ財産ヲ私スル罪ヲ云フ

第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金穀物件ヲ竊取シタル者ハ輕懲役ニ處ス

因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタ

ル時ハ第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ官吏自カラ監臨主守スル所ノ官ノ金穀物件ヲ其信任ニ背キ之ヲ竊取シタル者ナレハ通常ノ竊盜ニ比スルニ其情實カニ重シ故ニ之ヲ重罪ト爲シ輕懲役ニ處ス併シナカラ官吏ト雖モ其監守ニ非サル財物ヲ盜ミ又ハ監守者タルモ其職務中ニ非スシテ盜取シタル時ハ一般ノ盜罪ニ異ナルヲナシ若シ官ノ財物ヲ竊取シテ其罪跡ヲ昧マスカ爲メ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ之ヲ毀

棄シタル時ハ第二百五條ニ依リ重懲役ニ處
ス可キヲ云フ

第二百九十條 租税其他諸般ノ入額ヲ徵收ス
ル官吏正數外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以
上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス

租税租税國稅地方其他諸般ノ入額手數料、沒收、罰
ヲ徵收スルノ責任アル官吏徵收、並、地方
ヲ處分スル郡區長、地租及倉敷諸稅取纏納者
納スル戶長、輸出稅、其他、海、道、產物稅、等、諸
入各港船改所ノ關官吏、東京府ニ於テハ國立

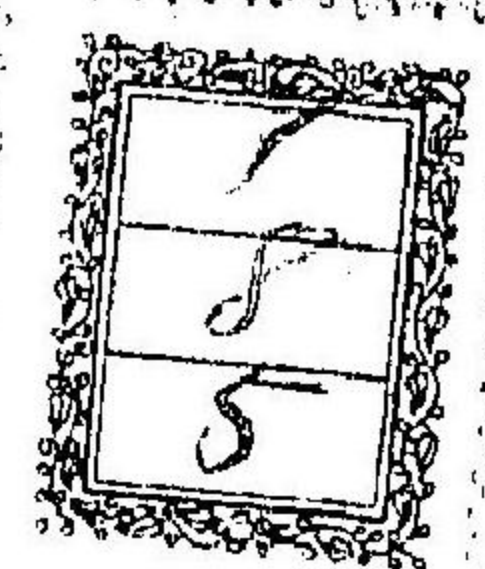
銀行、証券、株式、除、引、所、稅、米、商、會、所、稅、度、量、衡、稅、地
券、所、長、於、テ、徵、收、ス、官、有、地、拂、下、代、其、他、諸、收、ス、ル
郡區長、貸、附、金、收、還、納、官、物、拂、下、代、其、他、諸、收、ス、ル
手數料等ヲ徵收スル該掛官員裁許出納掛官費
罰金、贖金、等、料、ヲ、徵、收、ス、ル、該、裁、判、所、ノ、出、納、掛、官、費
吏違警罪ノ科類ヲ徵收スル當然徵收ス可キ正數ノ
外ニ餘分ノ金額穀類ヲ故サラニ徵收シタル
者ハ己レニ入ル、ト否トヲ分タス二月以上
四年以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰
金ニ處ス

第二百九十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ
輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監

視ニ付ス

此節ニ記載シタル官吏財産ニ對スル罪ハ輕罪ノ刑ニ處スル者ト雖モ其所犯惡ム可キヲ以テ刑期滿限ノ後六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

刑法註釋卷五終



東 京 圖 書 館

八	五	二	一		
冊	号	架	函	屬	類